

メタバース空間 × リアル空間における Well-being 体験を通じて地域創生に貢献

中期経営戦略 (New value creation & Sustainability 2027 powered by IOWN) に基づきデータ・ドリブンによる新たな価値創造に向けNTTは、個々人のWell-beingと地域との関係人口創出・拡大を目的とした「日本文化・伝統に基づく Social Well-being」※1の実証実験を開始します。

実証実験の第1弾として、1200年の歴史を有し、世界遺産にも登録されている高野山 (和歌山県伊都郡高野町) を対象とした「高野山 × Social Well-being」について実証します。

本実証を通じ、高野山の伝統的な文化・自然や人との関わりをメタバース空間や身近な生活圏内で感じられる体験を創出することで、体験に関わる人々のWell-beingを支援するとともに、地域との関係人口創出・拡大による地域創生をめざします。

「高野山 × Social Well-being」の概要

NTTが開発した「わたしたちのウェルビーイングカード」※2を用いたパートナーとの対話を通じ、高野山という地域の魅力を通じて得られるWell-beingの要因を以下の3つの価値として整理しました。

- ① 高野山の自然・歴史・人とのつながり
- ② 自己への気づき、メタ認知
- ③ 共創・共同体験による人とのつながり

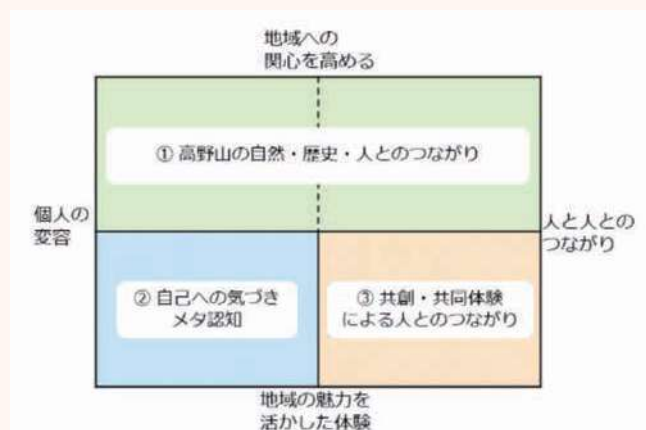


図1: 本取組の提供価値

そして、これら3つの価値を、ICTを活用することで、生活者の身近な場所 (生活圏) やデジタル空間 (メタバース) でも感じられる体験を創出しました。気軽に現地 (高野山) に行くことが難しい人や少し興味はあるが現地に行くのをためらっている人など、それぞれの人が関わりやすい形で体験することで、Well-beingと同時に高野山への興味を喚起し関係人口増による地域創生をめざします。



図2: 2つの体験と各体験で得られる価値

今後の展開

今回の実証実験では、Well-being価値観に基づく内観を他者との対話と五感を使った体感を通じて行う体験を提供します。本実証による知見を踏まえて高野山大学密教文化研究所監修のもと体験内容を改善し、体験ユーザを拡げて法人向けや訪日外国人向けの商用化に向けた検討を実施後、NTTグループ会社と共にビジネス持続性のためのエコシステムの検討・検証を行っていきます。

用語

- ※1 日本文化・伝統に基づく Social Well-being: 日本文化・伝統を有する地域の地域創生と、その地域とつながることによって一人ひとりのWell-beingに資する体験をめざした取り組み。NTTでは、Social Well-beingな社会を実現するための個人の考え方として、東アジアの思想伝統を踏まえた自己観が重要であると考え、その思想と親和性の高い日本文化・伝統に基づいたWell-beingな体験を創出することで、個人のWell-beingと地域創生に資する価値の創出をめざしています。
- ※2 わたしたちのウェルビーイングカード: NTTが開発した、Well-beingを理解するための第一歩として、自分や周囲の人たちが「何に対して幸せを感じるのか」ということを言語化するためのコミュニケーションツール。カードには自分がWell-beingを感じる要因 (Well-being要因) が書かれており、2022年度版では4カテゴリ32種のカードがある。
URL: https://socialwellbeing.ilab.ntt.co.jp/tool_measure_wellbeingcard.html